

2016年4月12日
 成田空港交通株式会社

～高速バスでの多言語対応に向けて～
**空港連絡バスで音声翻訳機能付き
 車内乗車券発売機の実証実験を行います!!**
 期間：4月19日（火）～5月18日（水）

京成グループの成田空港交通株式会社（本社：千葉県成田市、社長：佐藤 克己）では、バス関連機器製造会社の株式会社一水製作所（本社：東京都北区、代表取締役：水尻 一郎）と共同で、2016年4月19日（火）より、成田空港発着の空港連絡バスのうちの1台で、12言語に対応可能な音声翻訳機能付き車内乗車券発売機（運賃箱）の実証実験を開始します。



音声翻訳機能付き車内乗車券発売機（運賃箱）の外観（例）

今回の実証実験は、成田空港発着の空港連絡バスの車内における案内業務に、株式会社一水製作所にて開発中の音声翻訳機能付き車内乗車券発売機（運賃箱）を初めて導入します。

これにより、12か国語（英語、中国語（簡体）、中国語（繁体）、韓国語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、ロシア語、タイ語、インドネシア語）での音声翻訳ができるようになり、外国人のお客様からのご相談・ご質問へのスムーズな対応が実現します。

本実証実験において、バス乗務員やお客様に実際にご利用していただくことで、機械やサービス内容の検証を行い、本格導入に向けて検討を進めてまいります。

なお、これとは別に成田空港内のターミナル連絡バスにおいても、音声翻訳機の実証実験を行います。

音声翻訳機能付き車内乗車券発売機（運賃箱）の実証実験の詳細は次頁のとおりです。

～音声翻訳機能付き車内乗車券発売機の実証実験について～

1. 実験概要 成田空港発着の空港連絡バスにおいて、多言語での対応ができるよう、音声翻訳機能の実用性を確認するものです。お客様から外国語にてご相談・ご質問を受けた場合に、音声翻訳機能にて翻訳を行い、外国語にてお客様に回答を行うものです。

2. 実験期間 2016年4月19日（火）～5月18日（水）

3. 実験車両 1両

4. 運行路線 ・千葉線（成田空港～海浜幕張駅・稲毛海岸駅）
 ・つくば線（成田空港～つくばセンター・土浦駅）
 ・藤沢線（成田空港～戸塚・藤沢駅・辻堂駅・茅ヶ崎駅）
 ・松戸・柏線（成田空港～柏の葉キャンパス駅・柏駅）
 などでの運行になります。
 ※運用が固定されていないため、他の路線で運用されることがあります。
 ※車両検査などで運行を行わない日もあります。

5. 翻訳言語数 12か国語
 （英語、中国語（簡体）、中国語（繁体）、韓国語、ドイツ語、フランス語、
 イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、ロシア語、タイ語、インドネシア語）

6. お客様のお問合せ先
 成田空港交通株式会社
 TEL：0476-35-2321（平日9：00～17：00）

以 上